

アクネ菌に抗菌作用

シクロケム

マヌカハニーとαCD

（株）シクロケム（神戸市中央区）は、ニュージールランド産の抗菌作用を持つMGOマヌカハニーとαシクロデキストリン（αCD）の併用が、ニキビの原因となるアクネ菌に対して抗菌作用を示すことを確認した。

これまでに、同マヌカハニーとαCDを組み合わせ、ピロリ菌や溶連菌に添加した試験では、菌増殖率が無添加群で100%、同マヌカハニーのみ添加した群では約50%だったところを、併用群ではゼロまたは2%と、

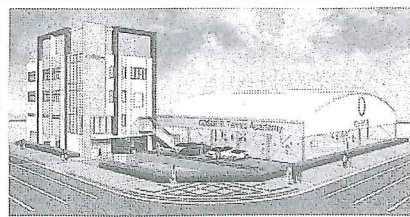
ほぼ増殖を抑制するといふ高い殺菌作用を示していた。今回、同社はアクネ菌を対象にこの併用による抗菌作用を調べた結果、ピロリ菌などと同様の効果を認めた。現在、MGOマヌカハ

ニーとαCDを配合した健康食品は、同マヌカハニーの製造および供給元であるニュージールランドの「サイクロパワー」の商標名で全世界に販売されている。シクロケムではアクネ菌に対する新発見を基に、健康食品だけでなく、洗顔剤や石けん化粧品などへの提案を推進するとともに、商品開発も行っている。

新社屋を11月に建設

シクロケム 建設費用は約8億円

（株）シクロケム（神戸市ポートアイランド（第2期）研究・文化施設用地）は、神戸市の



新社屋のイメージ

に新社屋を今年11月に建設し、本社を移転する。神戸市に支払う土地購入代金と建設費を合わせた

費用は約8億円。

新社屋は、研究機能の強化や同社主力品のシクロデキストリン（αCD）の新たな用途および製品の開発を行う目的で建築する。用地面積は約2800平方メートル、延床面積は約840平方メートルで、4回建てのビルになる。3階が研究室、4階がオフィスで、1階は駐車場、2階には一般や周辺企業の従業員も利用できるテニスコートを設け、テニスコールの運営も行う計画。

同社はこれまでに、αCDの包接作用や油成分を水溶液中でミセル化する働き、αCDの食物繊維としての健康機能などで研究データを積み重ね、健康食品や消臭剤などに向けて販売してきた。今後は新社屋の研究室で更に研究を推進し、販路拡大を図るとしている。